

経営健全化方針に基づく取組状況（令和２年度）

○法人名：有限会社阿弥陀ヶ滝観光

○経営健全化方針を策定した理由：債務超過額が 2,024 万 5 千円発生したため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

（千円）

	平成 29 年度 決算 (※1)	平成 30 年度 決算 (※2)	令和元年度 決算 (※2)	目標達成年度 (令和 2 年度) ※3
債務超過額	20,245	21,094	20,697	0
事業の内容に応じて時価で 評価した場合の債務超過額	—	—	—	—
土地開発公社のうち債務保証 又は損失補償の対象となっ ている保有期間 5 年以上の土地 の簿価総額（A）	—	—	—	—
損失補償、債務保証及び短期 貸付けの合計額（B）	—	—	—	—
標準財政規模（C）	—	—	—	—
実質赤字比率（%）	—	—	—	—
（A）／（C）（%）	—	—	—	—
（B）／（C）（%）	—	—	—	—

※1：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※2：該当する経営健全化方針の策定要件に関して、直近の決算額を、順次記載していく。

※3：当該団体が目標とする財政的リスク解消の達成年度の見通し及び数値を記載。なお、経営健全化方針策定通知においては、今後 5 年間で経営健全化方針の策定要件（財政的リスク）を解消することを目指して取組を記載することとしていることに留意。

○主な取組状況（令和 2 年 3 月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

・収益向上の取組

独自の取組として、昨年に続き近隣の県営施設の業務受託を行うほか、地元企業とのコラボ商品の販売、昨今のアウトドアブームによるキャンプ場の運営等により黒字化を達成

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・施設の経年劣化による修繕の一部を負担

会社経営状況の把握、新事業の検討など今後の事業展開について協議した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(千円)

	平成 29 年度決算 (※4)	平成 30 年度決算 (※5)	令和元年度決算 (※5)
資産総額	21,968	25,774	24,007
(うち現預金)	1,548	4,267	1,428
(うち売上債権)	1,346	2,885	4,416
(うち棚卸資産)	433	1,092	1,733
負債総額	42,213	46,868	44,704
(うち当該地方公共 団体からの借入金)	0	0	0
純資産総額	-20,245	-21,094	-20,697

(損益計算書から)

(千円)

	平成 29 年度決算 (※4)	平成 30 年度決算 (※5)	令和元年度決算 (※5)
経常利益	23,299	51,983	57,249
経常費用	28,064	52,750	56,780
経常損益	-4,765	-767	469
経常外損益	0	-10	0
当期純損益	-4,837	-849	397

※4：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※5：直近の決算額を、順次記載していく。